

目標達成計画

作成日: 平成 24 年 3 月 20 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	利用者の目標が実践されたかどうかを職員及び家族が把握し評価したうえで次の介護計画作成に繋げる為に、モニタリング評価に担当者の評価が加わる工夫と方法が両ユニットで統一されることを期待したい(外部評価より)	・モニタリングの評価方法を両ユニットで統一させ、次のケアプランに繋げていく	・2階ではモニタリングが記入もれのところもあったとのことで、担当者に確認し記入を行った。また、記入方法については以前からのケアマネの方法から、2階と3階を統一することにする。	2ヶ月
2	35	人員の少ない夜間体制、緊急時に適切な行動で利用者の安全を確保するためには、全員が繰り返し避難訓練を体験し実践できることが望ましい。ユニット毎、併設医院との連携など夜間想定での毎年の訓練開催を期待したい(外部評価より)	・夜間を想定した避難訓練の実現	・カンファで夜間想定での避難訓練の実現を検討してもらい、早速、併設医院との消防、防火訓練時、業者と西消防署の協力を得て、夜間想定での消防避難訓練を行った。又マニュアルの見直しをした。	1ヶ月
3	54	快適な居室への配慮として、ポータブルトイレを使用しない日中の設置場所を検討される事を期待したい(外部評価より)	・日中にポータブルトイレを使用しない方の、日中の設置場所を検討する。またトイレ内のパットの置き場所が他の入居者にも目につきやすいことから、見えないような工夫を行う	・日中使用しないポータブルトイレについては、面会者やご家族との居室での団らんを邪魔しないよう、大き目のかわいいカバーやタオルなどで覆ったり、トイレの個人用のパットについては各ユニットで工夫を凝らして入れ物を作成した	1ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。